

授業科目名	教養講義（自然地理学Ⅱ）	選 択	開講年次	1	単位数	2
科目区分	基本科目／教科に関する科目（社会・地歴）					
サブタイトル	自然環境—気候編	担当者	宮田 省一			
講義概要	<p><b>【概要】</b>  自然地理学は地形・気候・土壌・海洋・陸水などの自然現象の地域的分布状態や現象相互の関係を地域的に研究する分野である。授業では、気候要素や気候区の特徴・分布を作業学習なども取り入れて理解を深めるとともに、人間生活とも関わらせて考察する。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候要素と気候区の特徴・要因及び分布について理解する。</li> <li>・気候と人間生活との関わりについて理解を深める。</li> </ul>					
履修条件	特になし					
教科書・参考書	<p><b>【教科書】</b> 地図帳（中学・高校で使用したものでよい）を必ず用意すること。  授業ではプリント（資料・白地図など）を配布する。</p> <p><b>【参考書】</b> 授業時に随時紹介する。</p>					
授業回数	内容					
1	気候環境と世界の気候					
2	世界の気温・風・降水量（1）					
3	世界の気温・風・降水量（2）					
4	世界の土壌・植生					
5	世界の気候区分—ケッペンの気候区分					
6	熱帯気候					
7	乾燥気候					
8	温帯気候（1）					
9	温帯気候（2）					
10	冷帯気候					
11	寒帯気候・高山気候					
12	日本の気候					
13	千葉県の気候・木更津の気候					
14	気候と生活（1）自然災害					
15	気候と生活（2）					
評価方法	（1）出欠席 （2）レポート （3）客観及び論述試験					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に表現できたものには「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	作図などの作業学習を行うので色鉛筆（12色程度）を用意すること。					